

県内企業景況調査結果

(2025年7~9月期実績、2025年10~12月期見通し)

— 県内景況は、拡大している —

(前回)県内景況は、拡大している

- 業況判断D.I.は「好転」超幅がやや縮小したものの、**14期連続のプラス**
来期は「好転」超幅がやや拡大する見通し (4ページ)
- 景況天気は13期連続の「晴れ」。来期も引き続き「晴れ」となる見通し (7ページ)

■主要D.I. (カッコ内は前回調査からの変動幅、単位:%ポイント)

(参考)

	業況判断D.I.	景況天気	主要D.I.			雇用判断D.I.
			売上D.I.	採算水準D.I.	資金繰りD.I.	
当期実績	9.5 (▲3.2)	晴れ 16.4(▲0.6)	11.1 (▲0.7)	35.9 (+2.8)	2.3 (▲3.8)	53.3 (▲2.8)
来期見通し	11.8	晴れ 17.9	16.0	37.9	▲0.3	54.2

[調査内容についてのお問い合わせ先]

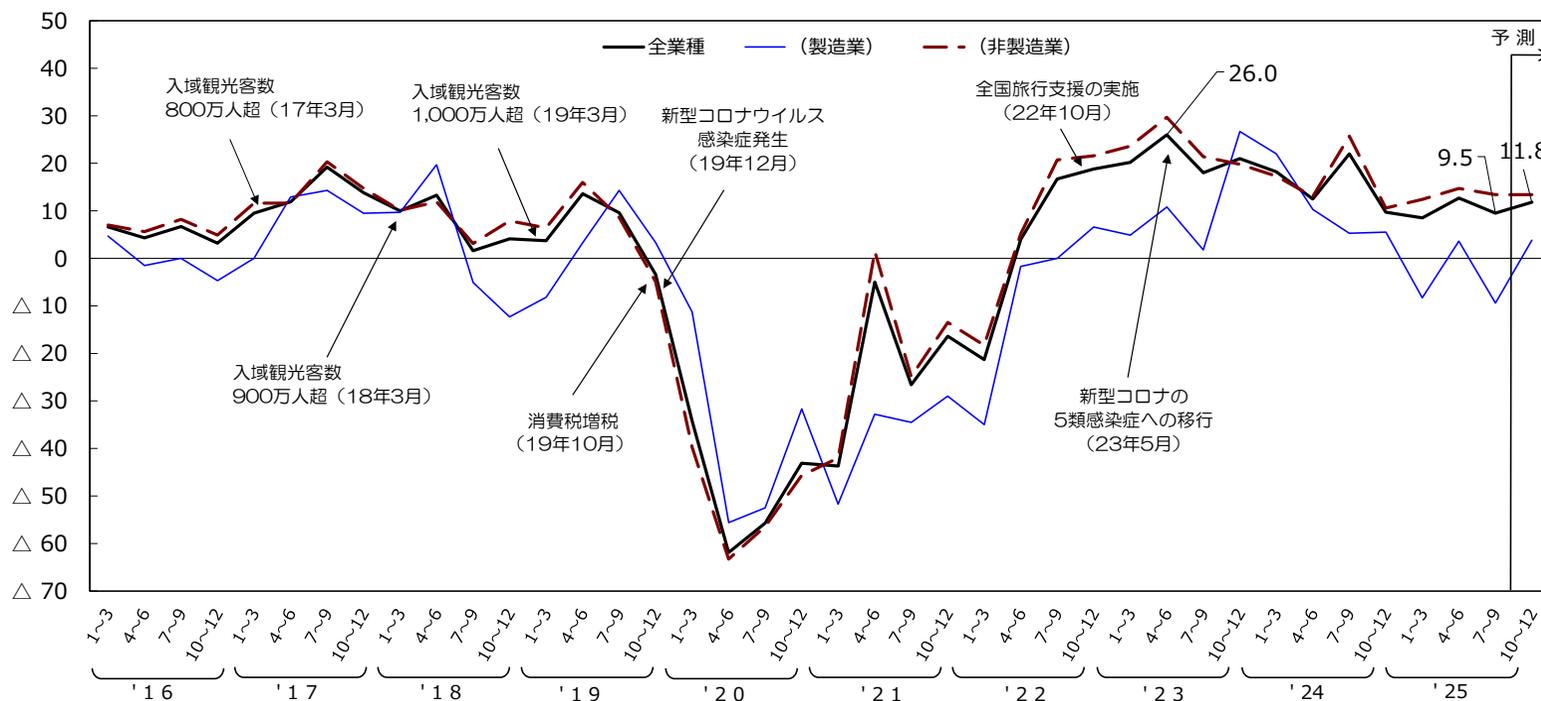
調査部 金融経済調査課(担当:比嘉) 沖縄県那覇市おもろまち1-2-26 電話:098-941-1725

調査結果の概要 (I)業況判断D.I.

- 実績(7~9月期):「好転」超幅がやや縮小したものの、**14期連続のプラス** [前期12.7%ポイント(以下、単位省略)⇒当期9.5]
 → 人手不足、原材料高、人件費増の影響がみられるも、引き続き観光需要、個人消費が堅調に推移していることから、県内景況は拡大している
- 見通し(10~12月期):来期は「好転」超幅がやや拡大する見通し [来期11.8]
 → 引き続き人手不足、原材料高、人件費増の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる

図表I 業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント)



(2)景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

- 実績：13期連続の「 晴れ」 [前期17.0⇒ 当期16.4]

小売業、飲食店・宿泊業で「 (晴れ)」→「 (快晴)」

卸売業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

運輸業で「 (快晴)」→「 (晴れ)」

情報通信業で「 (曇り)」→「 (薄曇り)」

製造業で引き続き「 (薄曇り)」

建設業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」

- 見通し：引き続き「 晴れ」となる見通し [来期17.9]

小売業、飲食店・宿泊業で引き続き「 (快晴)」

製造業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」

卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

建設業、情報通信業で引き続き「 (薄曇り)」

図表2 全産業における景況天気図の推移

(単位:%ポイント)

区分	2024年			2025年				
	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し	10~12月期 今回見通し	
全産業	 16.6	 20.2	 14.2	 12.2	 17.0	 (16.0)	 16.4	 17.9

 快晴 — 30以上～100以下
  晴 — 10以上～30未満
  薄曇り — △5以上～10未満
 曇り — △30以上～△5未満
  雨 — △100以上～△30未満

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

項目 業種	調査対象 企業数 (A)	回答数 (B)	回答率 (%) (B)/(A) ×100
全産業(※1)	368	306	83.2
製造業	68	53	77.9
建設業	68	62	91.2
卸売業	47	40	85.1
小売業	47	39	83.0
運輸業	33	29	87.9
情報通信業(※2)	23	20	87.0
サービス業	46	37	80.4
飲食店・宿泊業	33	23	69.7

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入またはWEB調査システムからの回答を求める方法。

5. 調査対象期間

当期:2025年7~9月期実績

来期:2025年10~12月期見通し

6. 調査実施期間

2025年8月中旬~2025年9月上旬

(発送:2025年8月18日、回収基準日:2025年9月5日)

7. 用語説明等

- 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- D.I. (Diffusion Index)とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD.I.を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果 1. 業況判断

— 当期は「好転」超幅がやや縮小したものの、14期連続のプラス

来期は「好転」超幅やや拡大する見通し —

- 自社の業況を総合的に判断する当期の業況判断D.I. (全産業)は9.5と、14期連続のプラスとなった。
- 運輸業で観光需要や一般貨物の運送需要の増加により「好転」回答がみられたものの、製造業、飲食店・宿泊業で原材料、人件費高や人手不足による営業時間の短縮等の理由により「悪化」回答がみられ、「好転」超幅がやや縮小した。
- 来期の業況判断D.I.は11.8と、「好転」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

図表3 業況判断D.I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)

(単位:%ポイント)

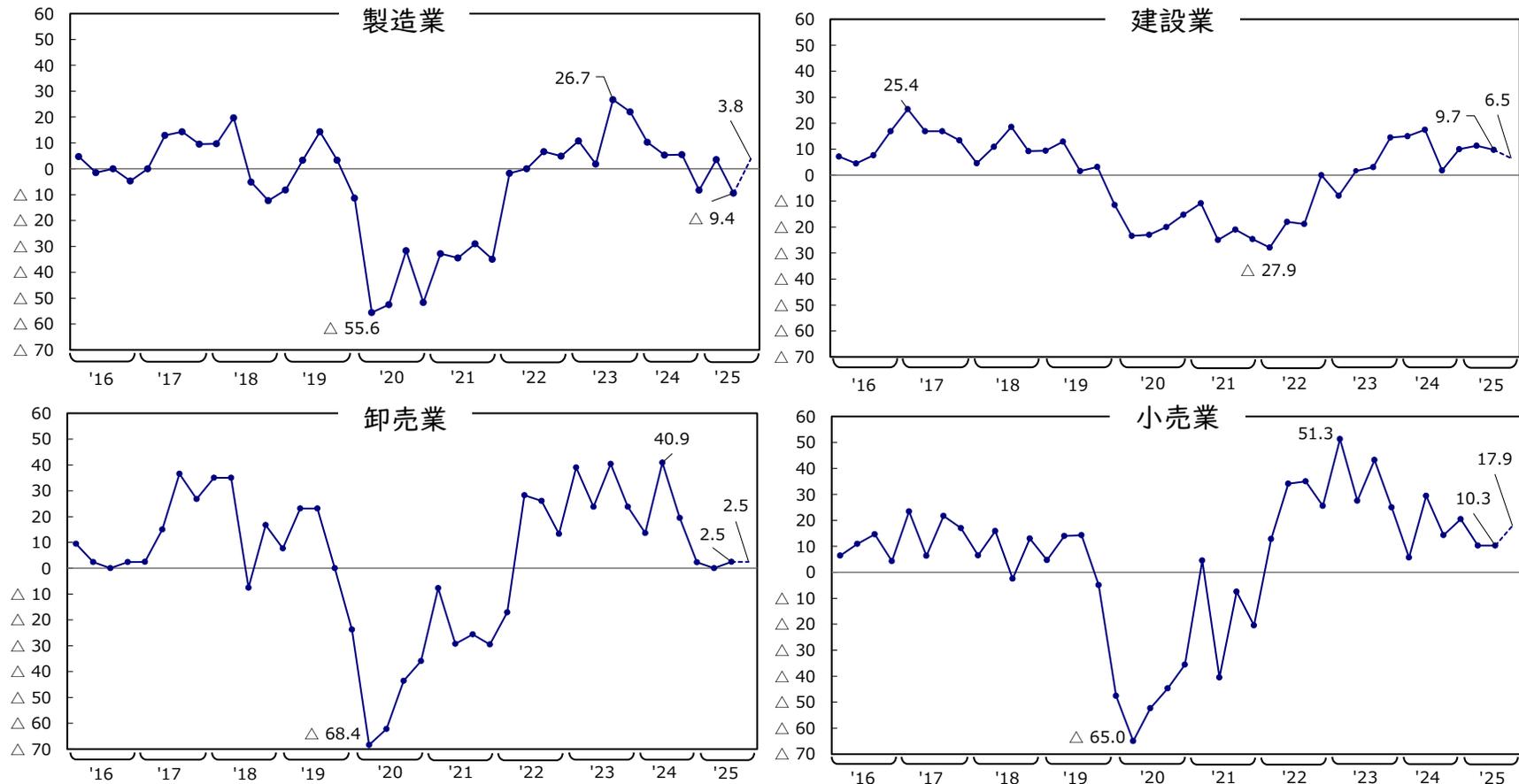
業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①-②)	12.5	22.0	9.7	8.5	12.7	(13.7)	9.5	11.8
	① 好転(%)	29.2	33.4	27.0	26.0	27.7	(25.5)	24.8	22.5
	不変(%)	54.2	55.1	55.7	56.4	57.3	(62.7)	59.8	66.7
	② 悪化(%)	16.7	11.5	17.3	17.6	15.0	(11.8)	15.4	10.8
製造業		10.3	5.3	5.5	△ 8.3	3.6	(14.3)	△ 9.4	3.8
建設業		15.0	17.5	1.8	10.0	11.3	(8.1)	9.7	6.5
卸売業		13.6	40.9	19.5	2.3	0.0	(7.5)	2.5	2.5
小売業		5.7	29.4	14.3	20.5	10.3	(10.3)	10.3	17.9
運輸業		33.3	22.6	23.3	17.2	25.8	(25.8)	34.5	34.5
情報通信業(※)		△ 11.8	0.0	6.3	11.1	5.3	(5.3)	0.0	5.0
サービス業		5.1	15.0	△ 7.5	△ 4.9	18.4	(13.2)	10.8	8.1
飲食店・宿泊業		23.1	53.6	29.2	40.7	38.5	(30.8)	34.8	30.4

※情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

- 製造業では、工芸品を製造する其他製造業で観光需要により「好転」回答がみられたものの、食料品で価格転嫁実施や県外競合他社の参入による売上減、窯業・土石製品で工事等の遅延による出荷時期の後ずれ等の理由により「好転」超から「悪化」超へ転じた。
- 建設業では、「好転」超幅はほぼ横這いとなったものの、人手不足による工事の遅延や、公共工事や民間工事の受注減を理由に業況を懸念する声が聞かれた。
- 卸売業では、建築資材で公共工事の受注減により「悪化」回答がみられたものの、飲食料品で観光需要に伴うホテル向けの売上が増加し「保合い」から「好転」超となった。

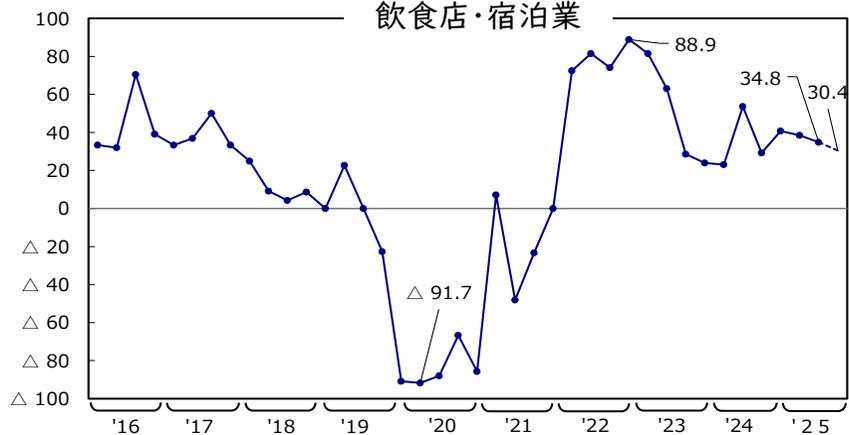
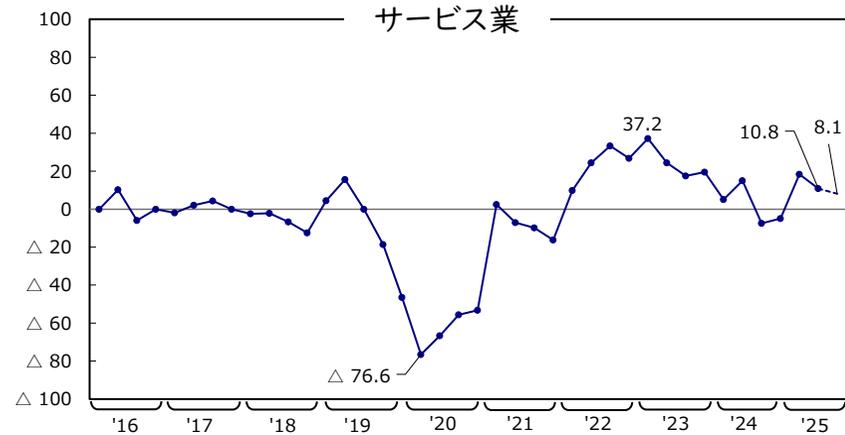
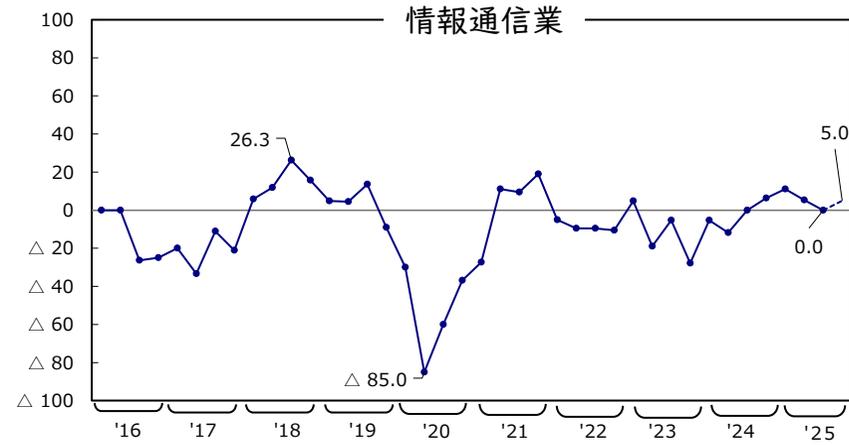
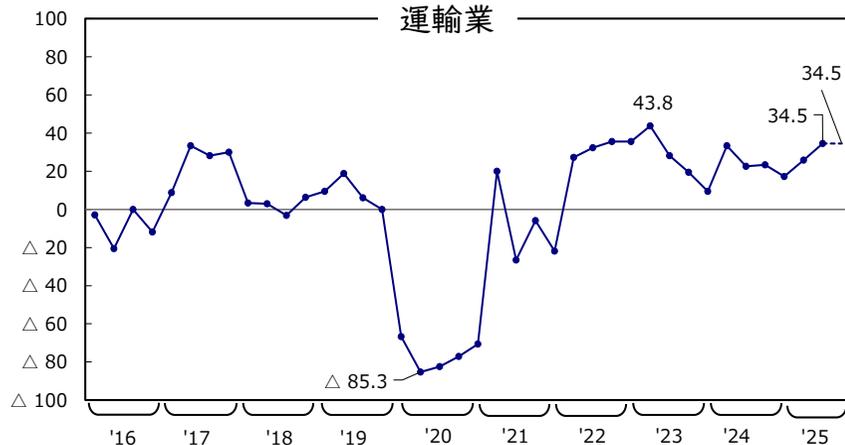
図表4-1 業種別の業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント、点線は見通し)



- 運輸業では、道路旅客運送で観光需要に伴う観光貸し切りバス需要の増加、道路貨物運送で一般貨物運送需要の増加、水運で台風の影響が少なく予定どおり運航できたこと等により「好転」超幅が拡大した。
- サービス業では、観光需要の増加により観光施設への来園者数が増えたほか、料金引上げにより売上増となったことから「好転」回答がみられたものの、人手不足により売上機会を逃してしまったとの声も聞かれ「好転」超幅が縮小した。
- 飲食店・宿泊業では、ホテルその他宿泊所で観光需要に伴う売上増となった先があったものの、飲食業で人手不足によって通常営業が厳しくなったことから定休日の設定や営業時間の短縮を行わざるを得ず機会損失となった等の声も聞かれ「好転」超幅がやや縮小した。

図表4-2 業種別の業況判断D.I.の推移 (単位:%ポイント、点線は見通し)



2. 景況天気

— 当期は13期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

- 当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、資金繰りD.I. (6.1→2.3) で「楽」超幅がやや縮小したものの、採算水準D.I. (33.1→35.9) で「黒字」超幅がやや拡大、売上D.I. (11.8→11.1) で「増加」超幅がほぼ横這いとなったことから、景況天気(17.0→16.4)は**13期連続の「晴れ」**となった。
- 来期の見通しは、資金繰りD.I. (△0.3) で「楽」超から「苦しい」超へ転じるものの、売上D.I. (16.0) で「増加」超幅がやや拡大、採算水準D.I. (37.9) で「黒字」超幅がほぼ横這いとなることから、景況天気(17.9)は「晴れ」の見通し。

図表5-1 景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業		16.6	20.2	14.2	12.2	17.0	(16.0)	16.4	17.9
製造業		19.5	18.1	12.1	8.3	9.5	(13.7)	△2.5	10.1
建設業		11.1	8.2	3.0	6.7	12.9	(7.0)	9.7	4.8
卸売業		30.3	35.6	26.8	21.7	18.3	(20.8)	17.5	19.2
小売業		15.2	32.4	21.9	23.9	25.6	(30.8)	30.8	35.0
運輸業		24.4	22.6	21.1	20.7	32.3	(18.3)	25.3	29.9
情報通信業		△3.9	△5.0	△4.2	△5.6	△8.8	(△1.8)	△1.7	1.7
サービス業		12.8	11.7	10.0	6.5	16.7	(14.0)	25.2	16.2
飲食店・宿泊業		12.8	39.3	23.6	12.3	28.2	(24.4)	43.5	40.6

	快晴	—	30以上~100以下
	晴	—	10以上~30未満
	薄曇り	—	△5以上~10未満
	曇り	—	△30以上~△5未満
	雨	—	△100以上~△30未満

図表5-2 全産業における主要3指標の推移

区分	2025年			
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業				
売上D.I.	11.8	(13.7)	11.1	16.0
採算水準D.I.	33.1	(33.4)	35.9	37.9
資金繰りD.I.	6.1	(1.0)	2.3	△0.3

2-1. 売上

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、来期は「増加」超幅がやや拡大の見通し —

- 当期の売上D.I.は、全産業で11.1と「増加」超幅がほぼ横這いとなった。
- 放送業で広告収入増、洗濯業で観光需要の増加に伴い売上増となったものの、製造業で価格競争の激化による売上減、生コン出荷量の減少等により「増加」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期は、全産業で16.0と「増加」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

図表6 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①—②)	11.9	23.9	13.0	7.5	11.8	(13.7)	11.1	16.0
	① 増加(%)	36.9	44.9	37.3	37.3	38.9	(33.4)	36.9	32.7
	不変(%)	38.1	34.1	38.3	32.9	34.1	(46.8)	37.3	50.7
	② 減少(%)	25.0	21.0	24.3	29.8	27.1	(19.7)	25.8	16.7
	製造業	17.2	7.0	7.3	△ 8.3	△ 3.6	(12.5)	△ 9.4	9.4
	建設業	0.0	5.3	△ 8.9	△ 5.0	3.2	(△3.2)	0.0	△ 9.7
	卸売業	25.0	50.0	31.7	18.6	△ 12.5	(5.0)	△ 10.0	7.5
	小売業	11.4	41.2	11.4	28.2	30.8	(25.6)	28.2	35.9
	運輸業	30.0	35.5	30.0	10.3	35.5	(22.6)	37.9	37.9
	情報通信業	△ 17.6	△ 5.0	△ 6.3	△ 27.8	0.0	(5.3)	20.0	20.0
	サービス業	5.1	17.5	15.0	7.3	13.2	(18.4)	18.9	13.5
	飲食店・宿泊業	19.2	57.1	33.3	40.7	50.0	(34.6)	43.5	52.2

2-2. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がやや拡大、来期は「黒字」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の採算水準D.I.は全産業で35.9と「黒字」超幅がやや拡大した。
- 来期は、全産業で37.9と「黒字」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表7 採算水準D.I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2024年			2025年				
	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し	10~12月期 今回見通し	
						今回実績		
全産業 D.I. (①—②)	32.4	29.3	28.7	32.0	33.1	(33.4)	35.9	37.9
① 黒字(%)	46.2	46.2	44.7	48.3	47.5	(43.6)	50.0	46.7
トト(%)	40.1	36.9	39.3	35.4	38.2	(46.2)	35.9	44.4
② 赤字(%)	13.8	16.9	16.0	16.3	14.3	(10.2)	14.1	8.8
製造業	36.2	38.6	27.3	33.3	35.7	(33.9)	20.8	37.7
建設業	26.7	14.0	16.1	26.7	24.2	(24.2)	25.8	25.8
卸売業	56.8	56.8	58.5	51.2	60.0	(57.5)	62.5	52.5
小売業	34.3	41.2	42.9	46.2	38.5	(53.8)	56.4	56.4
運輸業	40.0	25.8	26.7	44.8	41.9	(22.6)	31.0	51.7
情報通信業	5.9	△ 25.0	△ 18.8	0.0	△ 15.8	(△10.5)	△ 20.0	△ 5.0
サービス業	30.8	22.5	25.0	29.3	34.2	(26.3)	45.9	29.7
飲食店・宿泊業	3.8	35.7	33.3	3.7	23.1	(42.3)	56.5	47.8

2-3. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅がやや縮小、

来期は「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通し—

- 当期の資金繰りD.I.は、全産業で2.3と、「楽」超幅がやや縮小した。
- 来期は、全産業で△0.3と「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通しとなっている。

図表8 資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
		実績	実績	実績		実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業	D.I. (①—②)	5.4	7.3	1.0	△ 2.8	6.1	(1.0)	2.3	△ 0.3
	① 楽 (%)	13.1	15.3	11.3	10.0	14.3	(10.5)	10.5	6.9
	不変 (%)	79.2	76.8	78.3	77.1	77.4	(79.9)	81.4	85.9
	② 苦しい (%)	7.7	8.0	10.3	12.9	8.3	(9.6)	8.2	7.2
	製造業	5.2	8.8	1.8	0.0	△ 3.6	(△5.4)	△ 18.9	△ 17.0
	建設業	6.7	5.3	1.8	△ 1.7	11.3	(0.0)	3.2	△ 1.6
	卸売業	9.1	0.0	△ 9.8	△ 4.7	7.5	(0.0)	0.0	△ 2.5
	小売業	0.0	14.7	11.4	△ 2.6	7.7	(12.8)	7.7	12.8
	運輸業	3.3	6.5	6.7	6.9	19.4	(9.7)	6.9	0.0
	情報通信業	0.0	15.0	12.5	11.1	△ 10.5	(0.0)	△ 5.0	△ 10.0
	サービス業	2.6	△ 5.0	△ 10.0	△ 17.1	2.6	(△2.6)	10.8	5.4
	飲食店・宿泊業	15.4	25.0	4.2	△ 7.4	11.5	(△3.8)	30.4	21.7

3. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がほぼ横這い、来期も「容易」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は、全産業で4.9と「容易」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期も、全産業で3.6と「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表9 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
		実績	実績	実績		実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業	D.I (①-②)	3.5	7.0	7.7	2.8	4.8	(3.2)	4.9	3.6
	① 容易(%)	5.8	7.3	8.7	5.0	6.7	(5.4)	7.2	6.5
	不変(%)	92.0	92.4	90.3	92.8	91.4	(92.4)	90.5	90.5
	② 困難(%)	2.2	0.3	1.0	2.2	1.9	(2.2)	2.3	2.9
	製造業	5.2	10.5	10.9	1.7	1.8	(0.0)	5.7	3.8
	建設業	5.0	5.3	12.5	6.7	9.7	(6.5)	4.8	6.5
	卸売業	4.5	4.5	4.9	4.7	5.0	(2.5)	0.0	0.0
	小売業	2.9	8.8	0.0	0.0	7.7	(5.1)	5.1	0.0
	運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 3.2	(△3.2)	0.0	0.0
	情報通信業	0.0	5.0	0.0	0.0	△ 5.3	(△5.3)	0.0	△ 5.0
	サービス業	2.6	10.0	7.5	7.3	13.2	(10.5)	5.4	2.7
	飲食店・宿泊業	3.8	10.7	20.8	△ 3.7	0.0	(3.8)	21.7	21.7

Ⅲ. 参考 販売数量、販売価格

参考1. 販売数量 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は△13.6と「減少」超幅がほぼ横這いとなった。来期は2.3と「減少」超から「増加」超へ転じる見通しとなっている。

図表10 販売数量D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①-②)	△ 7.3	15.6	2.3	△ 12.0	△ 13.3	(0.7)	△ 13.6	2.3
	① 増加(%)	25.5	38.5	32.8	25.4	25.9	(30.4)	25.0	28.0
	不変(%)	41.6	38.5	36.6	37.3	34.8	(40.0)	36.4	46.2
	② 減少(%)	32.8	23.0	30.5	37.3	39.3	(29.6)	38.6	25.8

参考2. 販売価格 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は50.0と「上昇」超幅が縮小した。来期は48.5と「上昇」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表11 販売価格D.I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①-②)	52.6	48.9	46.6	50.0	59.3	(54.1)	50.0	48.5
	① 上昇(%)	56.9	54.8	52.7	54.2	63.0	(58.5)	59.1	53.8
	不変(%)	38.7	39.3	41.2	41.5	33.3	(37.0)	31.8	40.9
	② 下降(%)	4.4	5.9	6.1	4.2	3.7	(4.4)	9.1	5.3

在庫水準、雇用判断

参考3. 在庫水準 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期末は△3.8と、前期末と比べて「過剰」超幅が縮小した。

図表12 在庫水準D.I. (当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合) (単位:%ポイント)

業種	区分	2024年			2025年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全産業D.I. (①-②)		△ 2.9	△ 6.7	△ 3.8	△ 6.3	△ 9.6	△ 3.8
	① 不足(%)	7.3	4.4	5.3	3.5	1.5	5.3
	適正(%)	82.5	84.4	85.5	86.6	87.4	85.6
	② 過剰(%)	10.2	11.1	9.2	9.9	11.1	9.1

参考4. 雇用判断

- 当期の雇用判断D.I.は、全産業で53.3と「不足」超幅がやや縮小した。
- 来期は、全産業で54.2と「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表13 雇用判断D.I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合) (単位:%ポイント)

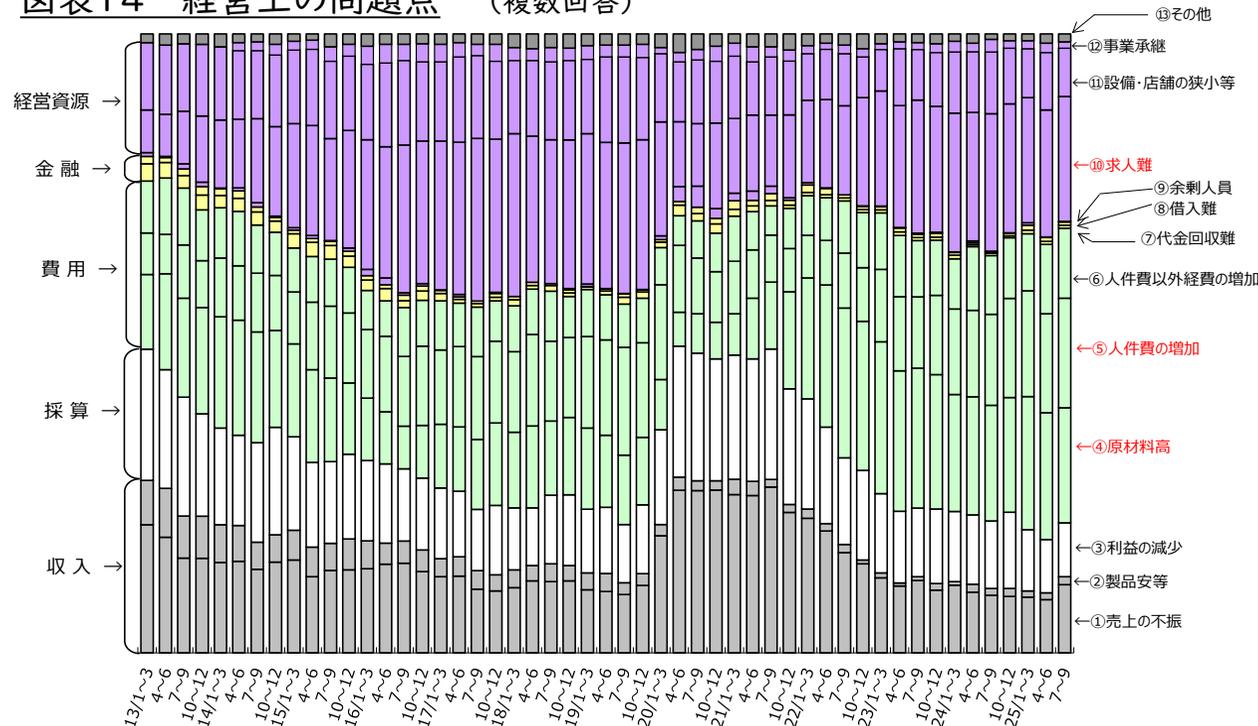
業種	区分	2024年			2025年				
		4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し	7~9月期 今回実績	10~12月期 今回見通し
全産業	D.I (①-②)	56.4	57.3	54.0	56.4	56.1	(56.1)	53.3	54.2
	① 不足(%)	57.7	58.9	55.3	57.7	57.0	(57.3)	54.9	55.6
	適正(%)	41.0	39.5	43.3	41.1	42.0	(41.4)	43.5	43.1
	② 過剰(%)	1.3	1.6	1.3	1.3	1.0	(1.3)	1.6	1.3

経営上の問題点

参考5. 経営上の問題点

- 経営上の問題点としては、「求人難」が最も高く、続いて「原材料高」、「人件費の増加」の順となった。
- 製造業、運輸業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、建設業、卸売業、小売業では「求人難」が、情報通信業では「売上の不振」が、サービス業では「人件費の増加」が最も高かった。

図表14 経営上の問題点 (複数回答)



(単位:%)

区分		全産業
①	売上の不振	11.0
②	製品安等	1.3
③	利益の減少	8.7
④	原材料高	18.6
⑤	人件費の増加	17.7
⑥	人件費以外経費の増加	11.3
⑦	代金回収難	0.5
⑧	借入難	0.5
⑨	余剰人員	0.1
⑩	求人難	20.2
⑪	設備・店舗の狭小等	7.8
⑫	事業承継	1.0
⑬	その他	1.3